訓練コース番号【　5-07-27-002-05-8026　】

訓練カリキュラム

訓練実施機関名：株式会社イメージ・ラボ
訓練実施施設名：イメージ・ラボ梅田B教室
問合せ先住所：〒530－0027
大阪府大阪市北区堂山町1番5号　三共梅田ビル5階　事務局
問合せ電話番号：06-6311-3681

■土日祝日訓練の有無：　全日あり　／　一部あり　／　○ なし
■法定講習に係る補講：　○ あり　なし　／　○ 有料　無料
■相モデルによる訓練：　○ あり　なし
■合同開催による訓練：　あり　○ なし

訓練の種別	✔ 実践コース（ 05 介護・医療・福祉分野 ）					就職を想定する職業・職種
	職場復帰支援コース（※基礎コースのみ）		託児サービスコース		短時間訓練コース（月80時間以上100時間未満）	訓練科名：☆初任者研修・同行援護・ガイドヘルパー科
	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入		「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入			訪問介護員、施設介護員
訓練科名	☆初任者研修・同行援護・ガイドヘルパー科					
募集期間（予定）	令和7年3月3日　～　令和7年3月21日					
選考日（予定）	令和7年4月1日					
選考方法	✔ 面接		筆記試験		その他（　）	
選考結果通知日	令和7年4月8日					
訓練期間	令和7年4月25日　～　令和7年7月24日　（ 3 か月）　（訓練日数 46 日）					
訓練時間	9 時 10 分 ～ 16 時 50 分			訓練定員	25 名	
訓練対象者の条件	特になし					
訓練推奨者（特定の者を想定する場合のみ）	新規学校卒業者	ニート等の若者	障害者	母子家庭の母等		
	被災者	外国人	その他（　）			
訓練目標（仕上がり像）	介護従事者としての職業倫理と幅広い知識・技能を習得する為に、専門の講師から的確な指導を受けることで、基本から応用までのスキルを身に付け、介護業界で活躍できる人材を育成する。					

訓練修了後に取得できる資格			
名称（ 介護職員初任者研修 ）	認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）		任意受験
名称（ 同行援護従業者養成研修一般課程 ）	認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）		任意受験
名称（ 同行援護従業者養成研修応用課程 ）	認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）		任意受験
名称（ 全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程 ）	認定機関（ 株式会社イメージ・ラボ ）		任意受験

① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置（IT特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置（WEB特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置（DSS特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		

訓練内容

訓練概要：介護従事者に必要な制度、倫理観と認知症ケアや障がい者に関する知識を学科で理解・吸収していただきます。そして、所内の実技演習で介護技術を習得し、実際に企業実習で経験を深めます。（日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、訓練校にお問い合わせ下さい。）

	科目	科目の内容	訓練時間
学科	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式・オリエンテーション（3H）　修了式（3H）	
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	1時間
	職務の理解	多様なサービスと理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権啓発に係る基礎知識	9時間
	介護の基本	介護職の役割・専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	6時間
	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障がい者総合支援制度およびその制度	9時間
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	6時間
	老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康	6時間
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援	6時間
	障がいの理解	障がいの基礎的理解、障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・かかわり支援の基礎的理解、家族の心理、かかわり支援の理解	3時間
	こころとからだのしくみと生活支援	介護の基本的な考え方、介護に関するこころのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解	23時間
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における実例	4時間
	修了評価	筆記試験（介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目の筆記試験）	1時間
	同行援護の知識	障がい者（児）福祉制度と同行援護事業、同行援護従業者の業務、同行援護従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者（児）の心理、介助の基礎知識	20時間
	全身性障がい者移動支援の知識	障がい者（児）福祉制度と移動支援事業、移動支援従業者の業務、移動支援従業者の職務倫理、障がい者の人権、障がい者の理解、障がい者（児）の心理、移動介助の基礎知識	13時間
	レクリエーションの知識	レクリエーションの意義、レクリエーションの基本と応用の知識、介護予防につながるレクリエーションとレクリエーションの企画・実践の知識	11時間
	就職支援	面接指導、履歴書作成指導、ジョブ・カード作成支援	3時間
実技	こころとからだのしくみと生活支援技術	生活と家事、快適な居住環境整備と介護、こころとからだのしくみと自立に向けた介護（整容、移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠）、終末期介護、利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	53時間
	同行援護の演習	同行援護における基本介助技術	16時間
	全身性障がい者移動支援演習	移動介助の基本技術、交通機関利用の介助演習	11時間
	介護技術実践演習	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具の活用、環境整備（移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）	10時間
企業実習		実施しない　✔ 実施する	42時間
職場見学、職場体験、職業人講話		【職業人講話】「介護員としての心構え」(介護業界のデジタル技術活用事例の紹介を含む) 1時間×2回	2時間
		【職業人講話】「介護員に求められる人物とは」1時間	1時間

訓練時間総合計 262時間	学科 127時間	実技 90時間	企業実習 42時間	職場見学等 3時間

受講者の負担する費用			
	教科書代	0円	合計 660円
	その他（ 全身性障がい者移動支援従業者及び同行援護の演習に係る交通費 ）	660円	
	備考（ 企業実習に係る交通費実費、健康診断料800円（税込）、法定講習欠席に係る補講費1回：3,000円（税込）は別途発生 ）		

指導方法

訓練形態（個別指導・補講を除く）	✔ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	
	オンラインによっても指導する（当該日通所可能・混在型）	オンラインによっても指導する（当該日通所不可・単独型）　オンライン計　時間
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	座学に加え、ロールプレイングやグループワーク等の体験学習を積極的に取り入れ、学習効果を高める。介護ベッド等、介護現場で使用されている介護器材を使用し、様々な介護場面における介護技術を習得する。	
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	講義及び実技・演習を通じて、受講生が介護に対する取り組み方や考え方が理解できているか、習得度を講師が常に把握し、理解が深まっていない受講生に対しては、訓練終了後に個別に対応を行う。	

訓練実施施設所在地地図	訓練実施施設住所:　〒　530-0027　大阪府大阪市北区堂山町1番5号　三共梅田ビル5階　B教室

【最寄駅】地下鉄谷町線「東梅田駅」より徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩約8分
ＪＲ大阪駅より徒歩約10分

訓練カリキュラム(企業実習用)

	科目		科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	こころとからだのしくみと生活支援技術	生活サイクルの確認、利用者の確認、利用者の生活支援	41時間
	その他	安全衛生	衛生管理項目の確認、救命装置の設置場所確認、 うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間